

「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」(第3次) 助成事業報告書

提出日 2021 年 11 月 30 日

団体名	市原米沢の森を考える会		
代表者	役職	代表	氏名 鶴岡 清次

助成事業名	「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」 (第3次)【災害復興活動支援助成】助成事業
助成金額	金500,000円
事業実施期間	2021年 7 月 1 日 ~2021年 10 月 31 日

【1】事業概要

※申請書の「事業概要」を踏まえ、実際に実施した概要を記載ください(500字以内)。

2019年の台風により被害を受けた「花立野広場・山桜と菜の花畑」の復興整備を行った。
 台風災害により風倒木や高所枝折れ樹木等が発生し、危険であると判断したので立ち入りを制限していた。7月に入っても雨天続きであったので、作業は8日から取り掛かった。まず、人々が安全に立ち入ることが出来る状態を目ざした。
 はじめに、土砂崩れや倒木などで危険な状況にあった個所の整備のため、重機類を使つての専門家による取り除きや土地整備を実行した。倒木や枝折れは数多く、台風の破壊力をいまさらながら感じさせられた。太い倒木を取り除いたり、伐根するためには重機・ユンボ・トラクター等業者に依頼せざるを得なかった。
 保全整備と並行して、草刈りや遊歩道の整備をし、目標である花立野のイベント広場及び花畑の復旧・耕耘を実施した。取り除いた倒木や根の焼却処理や周囲の整理と花の種まきを完了することが出来た。例年の花畑に比べると春先の花は少し残念なものであったが、来年用の種を収穫した後他の花種(コスモスと蕎麦)を撒き遅まきながら他の季節の花畑を楽しむことが出来た。
 山桜の周囲も折れた枝や倒木を整理できたので、来年の開花が楽しみである。

【2】実施内容

※実施内容（時期・対象者・何を・どのように）、数字的な実績（スタッフやボランティアの人数・参加者数・成果物の数量等）、連携した組織等について具体的に詳細をご記入ください

- ◎人力による整備作業は、会員・災害ボランティア（やまっぶ）・地域おこし協力隊等による
- ◎日頃から作業協力をしていただいている業者（タキヤス工業・造園業者等）

- 7月
- ① 菜の花畑の種の収穫及び草刈り
 - ② 花畑内及び周辺の倒木や枝折れの撤去
 - ③ 篠竹を伐採し倒木や枝折れの始末・伐根等人の力では無理なところの整地を重機使用による業者に委託
 - ④ 遊歩道の復旧整備
- 8月
- ① 菜の花畑の次の季節のために、コスモス・そばを撒くことにして畑の準備
草刈り・焼却・トラクター耕耘 種まき
しかし、8月8日の台風9号により被害があったので、もう一度種まきをした
 - ② 8月25日～9月10日は大木谷津田における稲刈りがあったので、両方の作業で大変だった
- 9月
- ① 畑は種まきが一段落したので、花立野広場及びその周辺の整備を実施
ここは巨樹が倒れたり枝折れしていたので、倒木処理・伐根・整地等重機やユンボによる作業を業者に委託
 - ② 広場の周りには来年の春用に菜種を蒔くためにトラクター耕耘をし、邪魔な篠竹・くず藤切などを実施
- 10月
- ① 1日に台風16号の接近により畑の耕耘等に遅れが生じたが、6日に3haの畑に種まきを完了
 - ② 残りの日々は、普段の里山に復旧すべく花立野周辺の斜面・御十八夜峰の遊歩道やその周辺の手入れを繰り返した
草刈り・枝折れの処理・樹木の手入れ等
 - ③ コロナ禍感染防止の自粛期間にできなかったイベントを、久しぶりに実施する予定をたてたので、これらが無事開催できるように里山及びイベント広場を整備
(予定)
11月20日 秋の収穫祭、12月20日 かぎろひを観る会、1月1日 初日の出を
観る会、その他（2月 椎茸コマ打ち 3月末には 山桜と菜の花を楽しむ会）

【3】 成果（助成事業の自己評価）

※助成事業の目標（申請書に記載の「目指す状況」）の達成度について、以下 A～C のいずれかに印をつけ、その理由について具体的に記入ください。

達成度	<input type="checkbox"/> A. 想定以上の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね実施計画どおりの成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 思うような成果が得られなかった
理由	台風による被害は、里山に大きなダメージを与えた。巨樹の倒木や枝折れの整備には危険も伴い人力だけでは効果をあげることができず、復旧には何年もかかるとがっかりしていたのだが、今回の助成事業のお陰により、専門業者による作業を依頼することが出来て復旧整備がはかどった。山桜と菜の花畑及びその周辺の危険物を取り除いて、以前の状態に戻し、さらに新しく季節の異なる花畑も拡大することが出来た。市原市の花プロジェクトの開催に、再び素晴らしい景観を提供できる準備ができ、来年の春に向けてすでに一面に菜の花の芽がでてきている。 来春、美しい山桜と菜の花と蘇った里山を楽しむ人々をお迎えする準備が整い、心から嬉しく助成事業に感謝している。

【4】 事業の総括・振り返り

※助成事業全体を振り返り、課題の設定、事業計画に対する実際の活動結果、成果の達成具合を振り返り、どの点がよかったのか、もう少し工夫が必要だったのか、今後改善するとしたらどのような点があるか等の総括を記載ください（500字以内）。

<p>助成事業の実行にあたり、事業計画は基本的な課題をはっきりさせ、目的を完遂できたと思う。</p> <p>しかし、計画実施に当たり、会員の高齢化や資金不足は根本的な問題として解決してはいない。幸い助成金の活用により危険作業を業者にゆだねることが出来たが、もし同じような災害があり助成金が得られなかったら、里山を維持することすら困難になる。今後の対策として検討しなければならない大きな課題である。国土維持の一つでもあるので、大きな問題として考えてもらいたいと思う。</p> <p>里山復旧については対象場所を絞って、重点的に作業できたことは良かった。</p> <p>作業計画については、できる人ができるときに参加してくださいというスタンスなので、どうしても多くの人員を集めることがむづかしい。IT を利用した連絡方法や、新たな会員や賛助会員などの募集活動も考えなければならない。今回は特にコロナによる自粛期間でもあったことで、大々的に募集が出来なかったことも一因と考える。</p>
--

【5】今後の展望と次の活動予定

※助成で取り組んだ課題における今後の展望とそれに対する今後の活動予定

- ①助成事業で取り組んだ成果は今後も持続可能な状態に復旧し、毎年春の花プロジェクトに参加可能となった。
- ②今後の大きな目的としては、米沢の森を多くの方々に知っていただき楽しんでいただくと同時に、ともに育てる場所とっていただけるように維持管理して守りたい。
- ③市原米沢の森の活動は里山保全整備活動並びに内田地区の谷津田保全整備及び絶滅危惧種を含む多様な生物保護活動などがあり、多岐にわたっている。その活動の一環として古道整備や歴史文化の発掘もある。
また、整備することで開けた景観の美しさなど、次世代に残したい大事なものがたくさんある。それ故、今まで以上の体制強化が必要である。各分野に興味のある大勢の方々の参加を得たい。と同時に他団体・行政・地元住民の方々等と連携し協力していきたい。
- ④今回の災害で山の地力の復旧が大事だと痛感している。森林のあるべき姿・樹木の構成・植林など検討したい。

【6】広報実績

広報内容	内容
1. メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	この事業期間はコロナ禍による制限があり、イベントなどの活動を行わなかったため特になし
2. 広報制作物・報告書等、当該事業費を使って制作したもの	助成期間終了後ではあるが近々に予定した秋の収穫祭・かぎろひを観る会・初日の出を観る会のチラシ作成（助成事業で整備した花立野広場が会場） *当該事業費は使用していない

※成果物制作の場合 5 部提出

活動の様子がわかる写真を5~6枚程度を添付または別途データをお送りください。



2019年の台風のあと



台風禍 倒木



土砂崩れのあと



2年前の爪痕



花畑の続きも拡大予定



危険木も伐採する必要あり



伐根や倒木処理



古木も若木も被害



台風後2年



花畑と拡張畑の間の篠だけや葛藤の伐根あと



処理したものの一部



整地後

【7】寄付者へのメッセージ

※本助成金の原資は多くの個人や企業の寄付によるものです。ご支援くださった方々へのメッセージをお願いします。

当団体は、広大な米沢の森の整備保全をしています。約100ヘクタールの森林と約12キロメートルに及ぶ遊歩道の維持管理は、平常の時でも多くの手間と時間がかかりますが、森を慈しみ、自然に触れることを楽しみに思う方々が“出来る時に出来る事を”の精神で、草刈りや枝打ちなどのために活動しています。

しかし、時が過ぎて会員も高齢者が多くなり、おまけに最近ではコロナ騒ぎがあったので、多くの方々に集まっていただくイベントを実施できない状態となり、森の手入れがままならない状態でした。

その上、2019年の台風による災害が大変なもので、土砂崩れや倒木など人力ではとても復旧作業ができないほどの出来事であり、費用を考えるとなかなか取り掛かることが出来ませんでした。

そんな時に、皆さまの温かい寄付を原資に、災害復興助成事業が行われることを知らせていただき早速申し込みましたところ、対象事業として助成を受けることが出来ました。

お陰様で、皆さまに楽しんでいただけるように、集会広場や花畑を復旧することと、遊歩道を安全に通ることが出来るように整備することが出来ました。

里山なので高さはそれほどありませんが、東西南北それぞれに見事な景観を観ることが出来ます。四季折々に繰り広げられる自然の美しさをぜひ皆様方にも楽しんでいただけたら幸いです。

お子様が歩ける、ほどほどの山道ですし、ご家族でお楽しみいただけます。

この度の助成に対して心からお礼申し上げますとともに、ぜひ一度お出かけくださいますようお願い申し上げます。

【その他】本プログラムや当財団への要望などありましたら、自由に記入してください。

- 今回のように時宜を得た助成金事業に対し、心から感謝申しあげる。
- 里山整備や耕作放棄地復旧などは、出来上がってそれで終わりではなく、毎年繰り返し繰り返し手入れが必要であり、ボランティア活動に参加できる人々が増えることを願うものである。
ボランティア募集および登録等、依頼や選択ができるような広報の場を設置していただけたら嬉しい。
- 費用に関しては、今後も環境活動や国土保全の助成事業を企画していただきたい。
- 団体の収入に結びつくような活動があったら紹介・募集等の媒体としての存在役を担っていただきたい。

あれこれ記したが、自分たちだけではなかなか実行できない事柄であるので、ご指導願いたい。

決算報告

収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		500,000
その他		25,115
収入合計		525,115

支出

費目	算出根拠	金額(円)
委託費	別紙出納明細(領収書添付)参照	390,900
燃料費	//	57,549
消耗品費	//	13,196
備品購入費	//	63,470
支出合計		525,115

[※領収書の写しを添付してください。]